

ライフ

mail:bunka1@ma.kitanippon.co.jp

獣

医

の

カ

ル

テ



89

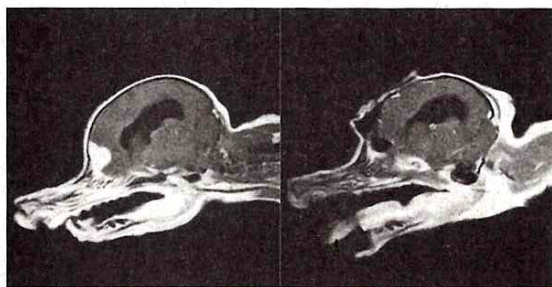


和田 章秀

よつや動物病院長
(高岡市四屋)

台風が発生を知らせるニュースや雨の予報を度々聞くような季節になってきましたね。台風や雨の時には低気圧になることばら存じの方も多いかと思えます。そして、実はこのシーズン、低気圧が近づいてくる影響で脳圧が変化しやすく、動物たちのけいれんが増える時期とも言われています。
夜中、ガタガタと全身を伸ばしてけいれんしその後ふらふら。また、朝にも夜と同じようにバタバタと全身を伸ばしけいれん。いずれも意識はなさそうに見えた。
こんな症状で来院したのは90歳のトイプードルちゃん。小さ

脳腫瘍



脳腫瘍を患ったトイプードルのMRI画像。
左が手術前、右が手術後

けいれんで来院 手術成功

いですが大人です。高齢の13歳でした。
原因を調べるために、全身麻酔をかけてMRIで撮ったところ、脳の中でも大脳と呼ばれる記憶や運動などに関わる部分に8mmの腫

瘍(がんなどのできもの)が見つかりました。8mmと聞くとそこまで大きくないように感じますが、この子の頭のサイズが5センチほどなので、この子にとってはかなりの大きさです。

いる腫瘍の部分で、右のMRIでは同様の部分が黒く抜けていると思えます。黒い所が手術によって切除した部分です。
幸い無事に手術を終えることができました。手術から2年たった

小さなワンちゃんでも高齢ということもあり、飼い主さまとよく相談し、脳腫瘍の摘出手術を当院で行うことになりました。頭の骨を切って、脳を直接見ながら行う開頭手術を実施しました。この子の場合、頭の骨を2センチ大しか開けることができないため手術できる視野は限られます。そのため手術用の顕微鏡も使いながら4時間及ぶ手術になりました。
写真は手術をする前と手術をした後のMRIです。左の白く見えるところが造影剤により目立って

今でもだいぶ加齢に伴う衰えはありますが、元気に過ごしてくれており、手術して良かったと飼い主さまは言ってくれています。
人の医療と同様に、動物の世界でも技術の革新によって、病気にもよりますが、今まで助からなかった動物たちを、助けられるようになっていきます。大切な家族である動物たちを助けられるよう日々、新たな知識を得て、診療、技術を磨いていきたいと思えます。

毎月第1土曜掲載